

桑竹会のたけのこ(案)

- ・竹林が荒廃しないように活動している会員のタケノコ
- ・竹の有効活用に取り組んでいる会員のタケノコ
- ・里山の防災・環境・景観改善に取り組んでいる会員のタケノコ

たけのこ掘りガイドライン

①掘れるタケノコ

品質が良く、出荷価格の良いタケノコ

小さすぎないタケノコ

タケノコはすべて出荷用を想定し、品質管理と重量管理でハネ品は処分(持ち帰り)

②筍掘りの技術

地下茎を傷つけないようにする。

株元の下の方を1回で切断する。鍬の重力にムリなく加速度をつけ、最少の力で切る。

周囲を掘るときは必要以上に掘らない。毛細根を傷つけない。

掘り跡、探り跡は全てきれいに埋め戻す。

③地元での注意事項

桑竹会のジャンパーを着用する。忘れた場合は、必ず着用者と同行する。

近隣農家には進んで挨拶する。丁寧に対応し、異状があれば理事長に報告する。

土地の境界は厳守し、委託された土地以外には1歩も踏み込まないこと。

火気厳禁

通行の障害になる車の止め方を絶対にしないこと。

邪魔になる竹等があれば進んで片付ける。工房に持ち帰る。

④品質管理(タケノコ出荷の注意事項)

きれいに泥をふき取り、イボを2列きれいに残し、傷の無いものを出荷する。

朝どりの一級品は農協に出荷する。

加工用の出荷を極力少なくする。